

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2023-24年度 RI会長／ゴードンR.マッキナリー
RI.D2590ガバナー／樋口 明
横浜旭RC会長／田川 富男



ウクライナ避難民支援

ポリオ撲滅運動
バキスタンにて

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
<http://yokohamaasahirc.cho88.com>
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp
例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日／12時30分～1時30分

2023年10月11日 第2522回例会 VOL.55 No.11

- 司会 SAA 佐藤 真吾
- 開会点鐘 会長 北澤 正浩
- 出席報告

会員数	18名	本日の出席数	11名
本日の出席率	61.11%	修正出席率	77.78%

- 本日の欠席者 宋、中谷、安藤、二宮、福村、岡田、田川
- ゲスト 厚地美香子様 (認定NPO法人あっちこっち) 理事長
- 斉唱／我等の生業
- 会長報告 北澤 正浩

みなさんこんにちは。

田川会長が体調不良の為、急速会長代理を務めさせていただきます。

先日の「フォルテ祭」に参加していただいた方々、ありがとうございました。特に主催された二俣川銀座商店街会長の目黒会員は大変なご苦勞をなさったと思います。お疲れさまでした。

当日は曇で少し雨が降る天候でしたが、多くの来場者で賑わいました。当クラブは今回、国際協力 NGO Act for Child さんに協力しタイ・ミャンマー国境付近の少数民族が手作りした民芸品を販売させていただきました。詳細については委員会報告にて社会奉仕プロジェクト委員から後程ございますので省かせていただきますが、Act for Child 代表の伊吾田さんからお礼のメールをいただきましたので読ませていただき

ます。

昨日は大変お世話になりました。皆様のご協力のお陰で5万円以上の売上を上げることができました。この売上はミャンマーの子ども達のために大切に活用させていただきます。

いつも本当にありがとうございます。

今度ともよろしくお願い致します。

混沌としているミャンマー情勢ですが、当クラブの活動が苦しんでいるミャンマーの子ども達に少しでもお役に立てたことは、とても意味があることだと思います。コロナ禍の影響がなくなりつつある今、ロータリーの精神である奉仕活動がもっと活発にしなければと感じました。

15日の日曜日には「旭ふれあい区民まつり」が開催されます。当クラブをアピールする絶好の機会です。クラブ全体で盛り上げていきましょう。

■社会奉仕プロジェクト委員会

副委員長 安藤 公一

10月8日(日)二俣川銀座商店街(目黒恵一会長)主催のフォルテ祭に初めて参加してきました。今回、横浜旭 RC としての出店にあたり、国際協力 NGO「Act for Child」(伊吾田代表)を五十嵐さんにご紹介頂き、タイ・ミャンマー国境付近の少数民族が制作したフェアトレード品、主に手製工芸品を販売して頂くこととなりまし

た。

当クラブよりは、田川会長、岡田幹事、五十嵐さん、新川さん、北澤さん、市川さん、関口大樹さん、佐藤勉さん（ご夫婦で参加）と私の9名が9時前の準備から16時半の片づけ撒収までを手がけました。参加頂いた皆様、朝早くから最後まで本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

コロナ禍を経ての4年ぶりの開催となったので、人通りも多く、素晴らしいプログラムのお陰で盛り上がっていました。最後の1時間にも及ぶ阿波踊りは圧巻でした。

その賑わいのお陰もあり、伊吾田さんにお持ち頂いた商品の売り上げも順調に推移し、ザクッと5万円以上は売れたとの好感触で、来年も是非参加したいと仰って頂きました。特に棒で背中を擦るとカエルの鳴き声をする木彫りカエルは売れ行き好調で、30体持参頂き、3体しか売れ残らず実に27体も販売できました。

ご案内を頂いた目黒さんには、心より感謝申し上げます。今後も参加を続けたいと思いました。

さて10月15日(日)は、旭ふれあい区民まつりが旭区役所近辺一帯で開催されます。当クラブは、区内各団体（消防署・法人会・杜協等全部で19団体：資料添付）が活動をアピールするエリアへの出店となり、物販・飲食物販売はできないエリアとなりました。当クラブの各種活動をアピールすると共に、一緒に活動して頂ける新しい仲間をスカウトしていきたいと考えています。

五十嵐さんと掲示物・配布物の打合せを行い、当クラブのリーフレットを刷新し、また、各自治会に人気のある「てんでんこ」を増測して配布しようということとなりました。

10時～15時の開催となりますが、準備のためお手伝い頂ける方は、区役所駐車場に9時集合でお願い致します。

■ 2023年ラグビーワールドカップの楽しみ方 その4 安藤 公一

10月8日午後8時からのアルゼンチン戦にJAPANは27-39で敗れ、決勝トーナメント進

出は叶いませんでした。スクラムで互角に戦えたことディフェンスが機能したことは想定通りでしたが、ラインアウトがうまく機能しなかったことと数少ないミスタックルが失点に直結し、一度も相手をリードできなかった試合運びも敗因の一つです。

最初の失トライを除くと殆どがペナルティーのアドバンテージ（反則を犯していない方が有利な場合は笛を吹かずプレーを続行）を取られた後の失点となってしまいました。

やらなくても良い反則を犯さないこと、攻めている時のミスをしないうこと。これができなかったことが負けに繋がりました。世界ランク上位のチームに下位のチームが勝つにはミスをしては絶対に勝つことはできません。今回選手に選ばれた30歳以下のメンバー達には4年後のリベンジを期待しています。

予選リーグの最終戦は、白熱のゲームが他にもありました。トーナメント進出の決まったイングランド対サモアは18-17の接戦でイングランドの辛勝。豪州を破ってトーナメント進出のフィジーは、ワールドカップ初勝利を目指すポルトガルに23-24のまさかの敗戦。ラグビーというのは身体的な勝負だけでなく精神的な部分が大きい競技なのだと痛感した次第です。

決勝トーナメント一回戦（準々決勝）は、偶然にも4試合全てが南北対決となりました。（北半球）（南半球）

- ① 10/15/0 時 ウェールズ対アルゼンチン NHK
- ② 10/15/4 時 アイルランド対ニュージーランド 日テレ
- ③ 10/16/0 時 イングランド対フィジー 日テレ

④ 10/16/4 時 フランス対南アフリカ NHK
どのゲームもどちらが勝ってもおかしくない白熱の展開となりそうです。

その後の準決勝は

- ⑤ 10/21/4 時 ①の勝者と②の勝者
 - ⑥ 10/22/4 時 ③の勝者と④の勝者
- 3位決定戦

10/28/4 時 ⑤の敗者と⑥の敗者
決勝戦

10/29/4 時 ⑤の勝者と⑥の勝者 日テレ
まだまだ眠れない週末が続きます。

■ニコニコBOX

新川 尚 / NPO 法人あっちこっち厚地様卓話よろしくお願ひします。

目黒 惠一 / 10月8日(日)二俣川銀座商店会フォルテ祭にご参加いただき又協賛金までいただき誠にありがとうございました。大成功に終わる事が出来ました。又来年宜しくお願ひ致します。

佐藤 勉 / 厚地美香子理事長本日の卓話よろしくお願ひします。

佐藤 真吾 / NPO 法人あっちこっち理事長厚地様、本日はお忙しい所、当クラブ例会にお越し下さり有難うございます。卓話よろしくお願ひします。

五十嵐 正 / 厚地様本日の卓話楽しみにしております。よろしくお願ひします。

市川 慎二 / NPO 法人あっちこっち理事長厚地様久しぶりの卓話楽しみにしています。フォルテ祭、お疲れ様でした。

佐藤 利明 / 厚地美香子様卓話よろしくお願ひします。

■卓話 / 厚地美香子様 (認定NPO法人あっちこっち) 理事長



認定NPO法人あっちこっち



芸術って敷居が高い？
自分とは別世界？

ふだんの生活の中でもっと気軽に楽しめたら。そんな思いで私たちの活動はスタートしました。

自己紹介

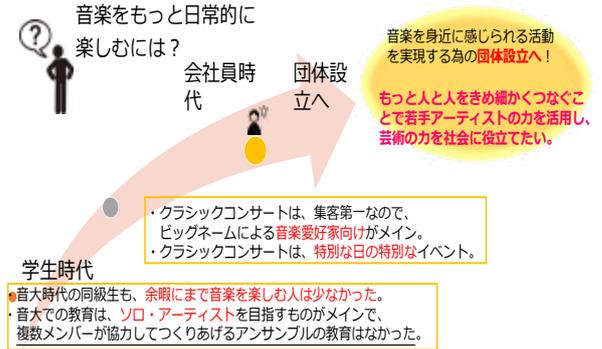


横浜市中央区住
県立厚木高校から武蔵野音楽大学へ進学
趣味は、お菓子作りと横浜散策



- ✓放送ピアニストだった叔母の影響で、ピアニストを目指す。
- ✓大学卒業後、クラシック音楽コンサート・マネジメント会社に20年勤務。
- ✓2010年より、芸術による社会貢献を目指して前職を退職し、NPO立ち上げ準備開始。

音楽をもっと身近にするためには



はじまりは ~東日本大震災とカフェ・コンサート~

2011年9月
優秀な若手演奏家に声をかけて被災地へ

横浜から手づくりお菓子和コーヒーを。 → カフェ・コンサート開催へ。

被災地から地元横浜へ

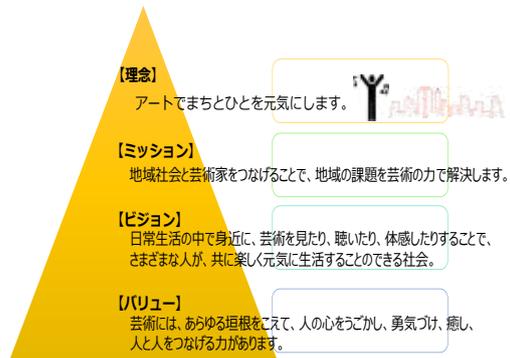
◆被災地支援カフェ・コンサート開始の地、七ヶ浜ではおなじみの存在に。

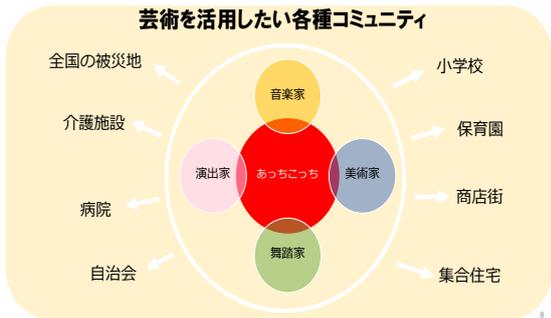
「あっちこっちさんですか。」
「カフェ・コンサートの方ですか」
と声をかけていただけるように。

しかし、地元横浜では
だれも、わたしたちの活動を知らない…。

地元で、子どものためのわくわくワークショップシリーズをスタート

あっちこっちの活動理念





7つの自主事業とSDGsの取り組み

SDG項目	活動内容
	①親子のためのわくわくワークショップ・ ②アーティストが学校へ 質の高い芸術イベントのアウトリーチで、子ども達の豊かな感性を育みます。
	③若手アーティストの人材育成～アートフォーコミュニティ アーティストが地域コミュニティに入り、イベントを積極的に開催することにより、コミュニティの活性化を図ります。
	④子ども食堂とアート体験・⑤こどもホスピス芸術学校・ ⑥カフェ・コンサートでの被災地支援 交流イベントに参加することにより社会問題となっている孤独と孤立を防ぎ、安心安全なまちづくり、親いの場づくりに寄与します。
	⑦芸術を通した国際交流 海外のアーティストを日本に招き共働することにより、国際交流を促進します。
	芸術全般 芸術をもっと身近に楽しく、元気な社会をつくれます。若手アーティストの活動の場を増やします。

ご支援をお願いしたい事業

こどもホスピス芸術学校

2021年秋、横浜市金沢区に関東で初のこどもホスピス設立



2023年秋、ヨコハママラソン、チャリティ枠に決定(^^)

こどもホスピス芸術学校とは

一人一人の病状に合わせて音楽・美術・ダンスの各分野、またそれらがコラボレーションした「授業」をプロのアーティストが出向いておこなうプロジェクト。子どもの**時間**を家族や友達と一緒に共有する。



※こどもホスピスとは・・・病気とともにある子どもと家族が一緒に安心して過ごせる場所であり、病気のために諦めていた「やってみよう」を叶えられる場所

特別支援学校アウトリーチ事業

目的

特別支援学校に通う児童が、芸術文化を体験・実感し、児童自身が芸術を創作するアートプログラムを実施する事で、児童の自己実現・自己表現を促進し、卒業後の人生の選択肢を広げる事。

概要

障がいのある児童の中には、芸術分野において高い能力を発揮する人が広く知られるようになった。近年障がい者が携わった芸術作品が社会的に評価を受ける環境が整いつつあり、こうした環境整備を進める事で、障がいのある方々の自己表現・自己実現を促進し共生社会の実現に向けて大きな役割を担おうと考えている。当法人ではアートと児童や地域社会等を繋げてきた実績から、当法人に登録されているアーティストやその他団体と協力を進め、知的や身体、重度障がいまで多くの障がいのある児童がアーティストと共に芸術を体験、創作することや、**新しい音楽制作機器「soundbeam」を活用したアートプログラム**を実施し、将来的な職業面で社会進出に寄与する。

特別支援学校アウトリーチ事業

内容

県立特別支援学校児童に向けて、プロのクラシック音楽家をはじめにしたアーティストを講師として、児童がアーティストと共に芸術創作するアウトリーチ授業を行う。その中では、様々な楽器の演奏を少しの接触でも可能な電子機器を使うことにより、より充実した作品制作をねらう。その電子機器の普及のため、障がい者の音楽制作のための電子楽器制作の歴史ある英国団体ドレイク・ミュージックと交差し、令和7年度に導入するための連携を行う。

成果

この事業を行う事により、障がい児がプロから直接授業を受ける機会を得て芸術本来の持つ力を体感し、障がい児の創作に対する挑戦の意識が変わり、自分の可能性を信じる力が促進され、それにより将来の職業選択肢の幅が広がる。

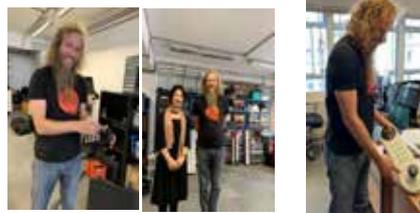
ドレイク・ミュージックとは

障害のあるなしにかかわらず全ての人々が音楽を楽しむための多様なプログラムを展開している英国のアート団体。障害のある人に向けた、利用しやすい音楽サービスを提供するほか、障害のある人がより容易にアクセスできる音楽プログラムを実施する人材を育成するためのトレーニングを実施している。また、音楽家や企業関係者、エンジニア、デザイナーがアイデアを交換し合う場を積極的に作っており、その取り組みには世界中から注目が集まっている



英国ドレイク・ミュージックとの協働

- ・障がい者の音楽制作のための電子楽器導入
- ・その電子楽器を使った授業への情報提供と講師(アーティスト)の人材育成



2023年9月
ロンドン事務所視察より

次週卓話 / R財団フォーラム